

平成30年度(2018年度)

管理事業名	まちづくり計画事業				総合計画の体系	第6章 安全で魅力的なまちづくり 第2節 暮らしや都市活動を支える基盤づくり ほか
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 8	土木費	(項) 5	都市計画費	(目) 1 都市計画総務費
部局名	都市計画部	予算執行所属	都市計画室・計画調整室			
予算大事業名	まちづくり支援事業 一般事務事業 千里ニュータウン活性化再生支援事業 景観まちづくり推進事業 都市計画情報デジタル化推進事業 都市計画審議会運営事業		上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)土木費(項)都市計画費(目)都市計画調査費		まちづくり活動支援事業 都市計画マスタープラン事業 南吹田地域まちづくり事業 北千里駅周辺活性化支援事業 都市計画施設整備費事業	
<b>事業の目的と概要</b> まちづくり計画事業は、都市計画法、景観法・景観まちづくり条例、千里ニュータウン再生指針等に基づき、市民、事業者、専門家等及び行政の相互の協働により地域特性を生かしたまちづくりを推進します。 また、審議会の運営、都市計画施設整備のための基金の管理、法令等に基づく助言や指導等、又は、地域課題解決のための計画等策定等の協働のまちづくり等、必要な事業を行います。						

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	成果指標の定義
アドバイザー派遣回数	回	17	18	15	南吹田地域まちづくりアドバイザー、都市計画まちづくりアドバイザー及び景観アドバイザーの合計派遣回数
事前協議等受付件数	件	241	246	255	景観まちづくり条例に基づく事前協議等受付数
千里ニュータウンのまちづくり指針チェックリスト指導件数	件	8	10	13	これまで育まれてきた千里ニュータウンのみどり豊かでゆとりある良好な住環境の発展継承
成果の説明	・専門家をアドバイザーとして派遣するなど、市民主体のまちづくり活動を支援することにより、地区計画など地域独自のまちのルールづくり等を通して、地域特性を生かしたまちづくりを推進しました。 ・景観まちづくり条例に基づく事前協議手続きにおいて、必要に応じて専門的立場の「景観アドバイザー」による会議を概ね月2回開催するなど、開発事業者に対する助言・指導を行いました。 ・千里ニュータウンのまちづくり指針に沿った事業計画が行われました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	30	41	29	△12
国庫支出金(経常費用充当)	2,600	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	843	925	440	△485
財産収入	60	54	55	1
寄附金	1,100	1,000	1,050	50
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	23	16	-	△16
その他	-	1	-	△1
経常収入 小計(a)	4,657	2,037	1,574	△463
給与関係費	208,301	218,492	221,210	2,718
物件費	24,385	23,989	49,719	25,730
維持補修費	69	38	185	147
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	1,590	2,989	1,971	△1,019
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	221	25	23	△2
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	17,179	18,358	19,135	776
退職手当引当金繰入額	50,810	28,226	16,490	△11,736
支払利息	2	0	0	△0
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	302,557	292,118	308,732	16,614
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△297,901	△290,081	△307,159	△17,078
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	2,448	4,700	2,252
特別収入 小計(d)	-	2,448	4,700	2,252
特別支出	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	2,448	4,700	2,252
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△297,901	△287,633	△302,459	△14,826
一般財源充当額	262,734	278,979	306,676	27,697
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△35,167	△8,654	4,217	12,872

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
給与関係費	職員人件費
物件費	物件費の主な支出は、委託料で、景観まちづくり推進事業の屋外広告物調査検討及びシステム構築業務23,220千円 北千里駅周辺活性化支援事業の北千里駅前地区再生計画策定業務9,720千円
負担金・補助金・交付金	景観アドバイザー会議報償費1,073千円 景観まちづくり活動補助金200千円 吹田市・豊中市千里ニュータウン連絡会議分担金248千円 全国地区計画推進協議会会費45千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	4,657	2,037	1,574	△463
行政サービス活動支出	266,046	282,422	311,876	29,454
行政サービス活動収支差額	△261,389	△280,385	△310,302	△29,917
投資活動収入	-	2,448	4,700	2,252
投資活動支出	1,123	1,016	1,050	34
投資活動収支差額	△1,123	1,432	3,650	2,218
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	221	26	24	△2
財務活動収支差額	△221	△26	△24	2
収支差額 合計	△262,734	△278,979	△306,676	△27,697
一般財源充当額	262,734	278,979	306,676	27,697
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(行政サービス活動支出)屋外広告物調査検討及びシステム構築業務23,220千円 北千里駅前地区再生計画策定業務9,720千円 (投資活動支出)都市計画施設整備基金指定寄附金1,050千円
----------	---

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民1人あたりのコスト	平成28年度	369,522 人	819 円	市民1人あたり、832円のコストがかかっています。 平成31年3月31日現在の吹田市の人口で算出しています。
	平成29年度	370,072 人	789 円	
	平成30年度	371,030 人	832 円	
	平成28年度		円	
	平成29年度		円	
	平成30年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	18,382	19,135	752
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	18,358	19,135	776
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	24	-	△24
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	144,198	144,175	△23	固定負債	198,705	194,762	△3,943
土地	144,175	144,175	-	地方債	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	長期借入金	-	-	-
リース資産	23	-	△23	退職手当引当金	198,705	194,762	△3,943
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
インフラ資産	-	-	-	負債の部合計	217,088	213,897	△3,191
有形固定資産	-	-	-	純資産	5,153,467	3,737,685	△1,415,783
土地	-	-	-				
建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	0	0	-	純資産の部合計	5,153,467	3,737,685	△1,415,783
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	5,226,357	3,807,407	△1,418,950	負債及び純資産の部合計	5,370,555	3,951,582	△1,418,973
出資金	77,000	77,000	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	5,149,357	3,730,407	△1,418,950				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	5,370,555	3,951,582	△1,418,973				

Ⅲ 財務構造分析

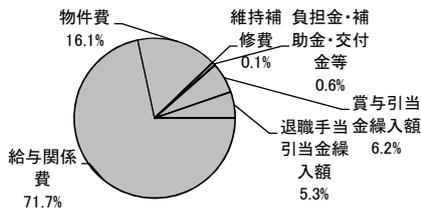
▽人にかかるコストの内訳

	常勤・再任用 月平均	非常勤 月平均	臨時雇用員 年間従事延日数	審議会委員等 実人数	合計(千円)
事業従事人数	29.3 人	人	445 日	30 人	256,835
給与関係費等	252,413 千円	千円	4,038 千円	384 千円	
内、時間外勤務手当	5,950 千円				

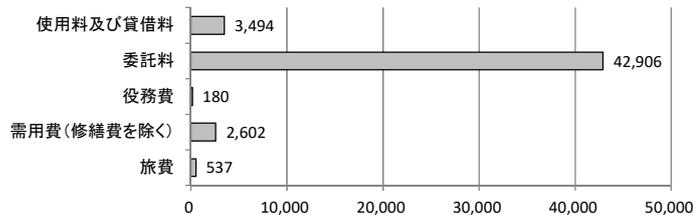
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
基金	1,420,000千円を取崩し、都市計画道路南吹田駅前線立体交差事業等に充当したためです。

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽分析指標

分析指標	年度	(単位:%)			
		平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差 B-A
受益者負担比率		0.0	0.0	0.0	0.0
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		98.3	98.4	98.0	△ 0.4

▽その他特記事項

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常費用の物件費49,719千円のうち、委託料が42,906千円で大半を占めています。主な委託内容は、景観まちづくり推進事業の屋外広告物調査検討及びシステム構築業務23,220千円、北千里駅周辺活性化支援事業の北千里駅前地区再生計画策定業務9,720千円、千里ニュータウン活性化再生支援事業の竹見台・桃山台近隣センター地区市街地再開発事業基本計画策定業務6,696千円、都市計画マスタープラン事業のJR岸辺駅南側まちづくり検討業務3,154千円で、地域特性を生かしたまちづくりに向けて企画、立案に活用しました。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

本事業に係るコストのうち、最も大きいものは給与関係費です。本事業では、地域特性を生かしたまちづくりに向けた企画・立案や市民主体のまちづくり活動への支援・啓発、開発事業者との協議・調整など、業務内容が多岐にわたっており、市民・事業者・専門家等との協働によるまちづくりを進めるうえで、職員の専門的知識や技術の向上、将来的な業務の伝承が必要であり、あわせて庁内関係部局間のさらなる連携が必要です。